

柳沢・上谷両氏の毎日新聞社工業技術奨励賞の受賞にあたって

丸 安 隆 和

昭和36年度毎日新聞社工業技術奨励賞が“解析航空測量”の実用化に対して功績のあった柳沢米吉氏およびその研究にたずさわった上谷良吉氏に贈られたことは、誠にお目出度いことである。航空写真測量の発達は近年とくに目ざましいものがあるが、さらに航空写真測量がさらに経済的になり、時間的にも精度的にも飛躍するためには、解析航空測量が不可欠の要件なのである。

1960年ロンドンで開催された国際写真測量学会においては、解析航空三角測量についての議論がその中心であって、本会議では論議がつくされず、引続いてオランダのデルフトで、さらに会場をイタリーのミラノに移して約1カ月の間世界各国の専門家が議論を続けたものである。

すでにその当時アジア航空測量KKでは、解析航空三角測量の実用化の第一歩が踏み出されており、上谷良吉氏の提出された論文は“Short report on analytical spatial triangulation”は非常な関心を呼んだものである。

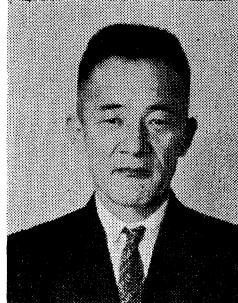
解析航空三角測量の効用については、すでに土木学会論文集第72号(1961年1月)に新しい方法の説明と同時に紹介したところであるが、理論的な解明はもちろんその基礎になるが、さらにこれに裏付けを行なうための電子計算機にかけるためのprogramming、連続した写真上に、標定点として選んだいくつかの点を確認し、これを marking する装置、marking された諸点の写真座標を測定する方法、これらのことが一つに融合されて、解析航空三角測量が実用化するのである。

柳沢氏はアジア航空測量KKの社長としていち早くこの問題を取り上げられたが、その慧眼に感服するほかないが、さらに限られた社員ときわめて沢山の仕事をかかえた隆盛な社業との間に、これらの新しい研究をまとめ上げられた総指揮官としての手腕には一層頭がさがるのである。

筆者の知っているかぎりでは、解析航空三角測量を実用化し、全般的に実際の作業過程に取り入れたのは、世界でも同社が最



やなぎ さわ よね きち
柳沢 米吉 氏
昭和2年東京帝大土木工
学科卒
26年海上保安庁長官
30年アジア航空測量
KK取締役社長
36年アジア航空測量
KK取締役会長



かみ や りょう きち
上谷 良吉 氏
昭和7年京都帝大宇宙物
理学科卒
15年中島飛行機入社
29年アジア航空測量
KK入社 上谷
研究室主任研究
員

初ではないかと思う。受賞に値する立派な業績である。

測量界はいま非常にきついで発展をとげている。航空写真測量の技術が進歩すると同時に航空写真を利用する道も急速にひらけつつある。同社はこの時勢に即応し、解析写真測量ばかりでなく、赤外線航空写真、天然色航空写真に新しい技術を開発し、photogeology の研究も進展し、トレースをするかわりに新しいスクライビングの乳剤をつくり出し、ますます写真測量の技術の発展のために尽されていることは、慶賀にたえない次第である（注：受賞の詳細は36年12月11日付毎日新聞朝刊参照）。

[筆者：正員 工博 東京大学教授 生産技術研究所]

「ロータリー」欄について

技術革新の波にのって、新しい材料、製品、建設機械、施工技術などがどしどし登場し、今後もますます激増してゆくであろうことが予想されます。学会誌編集委員会でもこの傾向を重視し、これらを一括して登載する「ロータリー」なる欄を設けることと致しましたので御利用願いします。委員会でキャッチできるものだけではデータが不足すると思われますので、なるべく多くの原稿を広くお寄せ下さい。委員会で適当と認めたものを若干の加筆修正を行ない、不公平にならないことを前提として順次ご紹介いたします。

将来は「使って見たら……」というような使用者の声も入れ、新しい技術開発の一助にもなればと有効な活用を期待しております。

新しく生まれた「ロータリー」を育て上げてゆくよう記事提供者、読者の方々の暖かい御声援を御願い申上げる次第です。原稿募集要項は下記のとおりですが、御不明の点は編集部へお問い合わせ下さい。

- (1) 投稿は団体、個人を問いませんが、土木学会の会員（団体の場合は特別員）であることを要します。
(2) 土木技術に関係の深い新しい材料、新製品、建設機械、施工技術などの紹介を主眼とし、なるべく実施例のあるものを中心にして下さい。
(3) 記述にあたっては、内容が宣伝のみに終らないよう配慮し、単価、示様、性能、特徴、使用実例、問題点（すなわち自己批判）などを列記して下さい。
(4) 原稿は写真、図表をふくめて一件あたり400字詰原稿用紙6枚以内（刷上り1ページ以内）とし、毎月5日を締切とします。
(5) 原稿の末尾に会員資格、提供者名、連絡先を必ず書いて下さい。

記